

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	入り口には鍵をかけているが、ドアを開けると音楽が流れるようになっており職員もすぐに分かるようにしている。利用者も自分で空けて出られることもあるが見守りが出来る状況にある。	ミーティングで話し合い本当に施錠が必要なのかを職員で話し合ってみる。	外部評価が終わった後に、ミーティングを行い全員が日中においては鍵をかける必要はないとの意見。翌日より日中は施錠をしないようにした。	1ヶ月
2	1	理念を作り上げた時点から、職員の変動もあり、職員が理念が何か把握できていない状況にある。地域密着型の意義を踏まえた、理念を職員で作り上げる必要がある。	地域密着型サービスとして取り組まなければならない、目標を職員全員で話し合い新しい理念を掲げ理念の共有を図るようにする。	ミーティングでケアに対する想いをそれぞれ出し合い皆で、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作り上げ、皆で共有できるようにする。	3ヶ月
3	11	運営推進会議へ決まった家族の参加はあるが、家族の意見や要望を反映させるまでには至っていない。	家族が気軽に意見を出せる機会を作る場を設けるように努力する	月々の行事や誕生会など、家族が集まる時に家族同士で話をする機会を作り、ホームへの意見や要望を取り入れるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。